

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	半田市	代表者名	榑原 純夫
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0569-84-0603
担当者役職		担当者氏名	
住所	475-8666 愛知県半田市東洋町二丁目1番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	現在、半田市での各種取り組みに関して、具体的に他の自治体の事例や、動向などの説明をし、アドバイスをいただけた。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月29日	10時00分	12時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	半田市役所		最寄駅	JR半田駅
	所在地	愛知県半田市東洋町二丁目1番地			
	最寄駅からの交通手段	徒歩10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	半田市職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータの活用に向けて、サービスの向上や、便利さを実感する具体的事例、実績の積み重ねが重要だと認識している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	他の自治体による好事例などを参考に、半田市でも取り組める内容の具体化を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	他の自治体(長野県須坂市、京都府亀岡市、三重県など)の、取り組み事例を紹介してもらう。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	プログラミング教育ツールであるマイクロソフトの「micro:bit」の紹介があり、MakeCodeエディターを利用すれば、子どものプログラミング教育だけでなく、プログラミング技術がない職員でも、IoTセンサーなど自作でき、取り組めるのではと感じました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない プログラミング教育での活用も可能だが、職員でも簡単なIoTセンサーなどを自作でき、そのIoTセンサーにて取得したデータのオープンデータ化にもつなげられるのではないかと検討する。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	実際に、自分たちで実物の「micro:bit」を操作してみて、実現性の可否を判断する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 オープンデータ活用のための、アドバイスなどの支援のため、特にアンケートは実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員が自作したIoTセンサーを活用してのデータ取得と公開。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

